

⑩ クズはきとフセコシ

○雑木林

2月中旬

クズ=落ち葉

○クズ掃きの人びと

クズ掃き

○苗床の敷き込み

0 1・2 7・4 2・0 0

N 2月中旬、ヤマのクズを集めることから、また、サツマイモづくりが始まります。

0 1・2 7・5 3・0 0

N クズとは落ち葉のことです。

0 1・2 8・0 3・0 0

N 循環型農法への人びとの関心が次第に高くなって来ています。

0 1・2 8・1 6・0 0

N かつて、クズ掃きは、およそ、ひと月かかる大変な作業でした。しかし、今は、ボランティアの人びとの手助けによって、およそ、一日で終えることが出来るようになりました。

0 1・2 8・3 9・0 0

N ヤマから運ばれて来たクズは、まず苗床に積まれます。

0 1・2 8・5 9・0 0

N 苗床に積まれたクズは足で踏み込まれ、堆肥として種イモの発芽促進に利用されます。

0 1・2 9・1 1・0 0  
N 残りのクズは堆肥置き場に運ばれ、  
2、3年熟成された後、  
畑の土づくりに使われます。

0 1・2 9・3 0・0 0  
N およそ、ひと月後の3月中旬、  
苗床では種イモのフセコミが  
行われていました。

0 1・2 9・4 1・0 0  
N 種イモの上には、  
完熟した堆肥とモミガラを  
かぶせて、発芽を待ちます。  
苗とりはいつ頃から始まるので  
しょうか。

伊東さんの話  
「大体、フセコンでから、約ひと月  
たつと苗が抜け始めますから、4月の  
下旬からですね、苗を採り始めるのが、  
それで6月上旬まで、苗を4万本め  
ざして、採りながら畑に植えるという  
作業が続いて行きます」

○種イモのフセコミ

3月中旬  
  
フセコミ

○堆肥を撒く伊東さん

フセコンでから約ひと月で  
苗が抜け始め  
4月下旬から6月上旬まで  
4万本めざして  
畑に植える作業が続く

⑪ エンディング

○収穫風景アップ

01・30・41・00

N 三富新田の開拓が始まったのは、

今からおよそ300年以上前の  
ことです。

先人たちは、火山灰土壌のやせた  
土地に、雑木の落ち葉を

堆肥として施しながら、  
代々、サツマイモを作っ  
て来ました。

その結果、いま、この土地では  
とても美味しいサツマイモが  
採れるようになりました。

○収穫風景ZB

01・31・10・00

N 開拓者たちの拓いた土地。

循環型農法という知恵。

○三富新田遠景

それを、開拓者たちの農業遺産として  
次の世代にしっかりと

受け継いで行くことが、

伊東さんたちの使命であり、

また、生きがいでもあるのです。

ナレーター  
長谷川博己

題字  
矢野春潮

製作著作  
一般社団法人  
家の光協会

制作協力  
株式会社  
アイ・フォスター

取材協力  
江戸屋弘東園 隆清堂 三芳町  
三芳町川越いも振興会 (株)東ハト  
下唐子獅子舞保存会 高橋農園  
井出美三男 (株)東秩父村和紙の里  
鷹野禎三 武田忠高 小宮康正  
(株)龍名館 三芳町立歴史民俗資料館

取材協力  
J A埼玉県中央会  
J Aいるま野  
J A越谷市  
J A埼玉中央

○スタッフロール

企画

小瀬村泰人

プロデューサー

新名安奈

撮影

河中金美

田中譲二

録音

庄司丈之

音楽

照山真史

制作

久保寺和人

EED・MA

Studio CATS

演出

丹尾 眞